

## 「あおもり家庭教育アドバイザー養成講座 第4回」

上北地区：令和4年9月5日（月）三沢市国際交流教育センター

受講者10名

西北地区：令和4年9月7日（水）つがる市生涯学習交流センター「松の館」

受講者9名

### 1 趣旨

地域における家庭教育支援体制を整備するため、家庭教育支援者としての理論学習や心構えを学ぶ講座を開催するとともに、そこで養成した人材を「あおもり親楽プログラム」（詳細はこちらへ）を使う研修会等に派遣する。

### 2 内容

【講義】「子どもの気持ちを理解するために」

講師 青森明の星短期大学 子ども福祉未来学科  
准教授 高橋 多恵子 氏

【演習】「あおもり親楽プログラムⅡ」

進行 県総合社会教育センター職員



### 3 講義要旨

- ・子どもには子どもの思いがある。子どもはちゃんと考えていて、感じている。
- ・子どもの気持ちに「寄り添う」とは、その子が見ている世界と一緒に見ようとする事。
- ・子どもに関わる大人ができることは、伸びていこうとする子どもの邪魔をしない。大人がニコニコして、「大丈夫だよ」というだけで子どもは育つ。
- ・子育てで大切なこと。「大人のあたたかいまなざし」「子どもの好奇心の芽を摘まない」「子どもの力を信じる」。

### 4 アンケート結果から

受講結果に満足	94.8%	どちらかと言えば満足	5.2%
どちらかと言えば不満	0%	不満	0%

- ・子ども観を改めて考え直す機会になりました。子どもたちもいろいろなことを考えていることが分かり、気持ちも出来事もきちんと聞いてあげて、褒めてあげて、ありのままよいことを本人が感じられるように接していきたいと思いました。
- ・「よき助言者になるより、よき理解者になれ」、常に心に留めておきます。まだ子育て中（高校生で反抗期）ですが、今日のことを参考に残り少ない時間の子育てを楽しもうと思います。
- ・自分の子育てと照らし合わせながら受けることができました。子どもの成長とともに、大人の関わり方が大切なんだと知りました。
- ・演習は、みなさんととても進行が上手でした。それぞれの良さが出ていて、プログラムの選び方もよかったです。
- ・職業も住んでいるところも年齢も違う人たちが集っての演習は、それぞれ考え方も違うので、様々な考えが出てきました。いろんな方の見方・視点がわかり、大変勉強になりました。

講義では、現代の子どもの状況や子どもの特性、それを踏まえてどのように子どもに寄り添っていくか等を学ぶことができました。

第4回からの演習は、受講者の方々に「あおもり親楽プログラム」の進行役を務めていただきました。皆さん、初めてとは思えないほどスムーズに進行していました。

